

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2013 4 - 5 vol. 19

絵本原画展

松成真理子

特集

ナンセンス絵本



まつなり まりこ 松成 真理子



撮影／村上浩次郎

松成 真理子(まつなり まりこ)プロフィール

1959年生まれ。イラストレーター、絵本作家。『まいごのどんぐり』(童心社)で児童文芸新人賞受賞。『じいじのさくら山』(白泉社)などの作品の評価も高く、読者、専門家の注目を集めている。おもな絵本に『ふでばこのなかのキルル』『にちょうびのばら』(白泉社)、『くまとクマ』(童心社)、『ぼくのくつ』『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『ころんちゃん』(アリス館)、『たなばたまつり』(講談社)など。『蛙のゴム靴』(三起商行)、『ひまわりのおか』(岩崎書店)など挿絵や紙芝居も数多く手がけている。

やわらかいタッチの水彩画で描かれる
生きとし生けるものたちへの優しい眼差し
野の花を摘んでつくった小さな花束のような
贈り物のような絵本を描いていきたい

絵本原画展開催

平成25年3月30日(土)～平成25年5月30日(木)



『ふでばこのなかのキルル』
(白泉社)



『じいじのさくら山』
(白泉社)

原画展示絵本

春のギャラリーでは、じいじと孫の心あたたまるお話『じいじのやいふ山』少年と小さなりゅうの出会いと別れを描いた『ふではこのなかのキルル』をご紹介します。

松成 真理子先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

私が絵を描く仕事を始めた時、時代はバブルの頃でしたから、広告のためのカットなど、仕事はたくさんありました。若い頃は4年に一度ぐらい、転換期のようなものがあった、今の状態から、より理想へと脱皮したくなるんです。「この仕事を終えたら考えよう」って目の前の仕事をこなしているうちに、どんどん時間が過ぎていきまして。そのうちにバブルの時代も終わり、ゆっくりと仕事が減ってきて、やっと自分を変えるための時間が訪れました。「MOE」という月刊誌(白泉社)で少しずつですがお話に絵をつける仕事をいただいて、そこで紹介されていた絵本作家たちの仕事を知り、絵本を作ってみたくったのがはじまりです。

画材は何を使っていますか？

今は主に水彩絵具です。ホルベイン、クサカベ、ウインザー&ニュートン、透明も不透明も、いろいろごちゃまぜです。画材にこだわらずに思いついたものをどんどん使っていきたいです。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『じいじのやいふ山』

最初の自作絵本を全力で出した後、「絵本作家としてやっていきたい」という気持ちと、「出来るんだろうか2作目」という見えない壁を言い訳にしてさぼっていました。そんな時「できる、できる、やればできる」という編集者の強い励ましに押され描いたのがこの絵本です。大切な人が突然いなくなるという生き物として避けて通れない「死」というものを小さな子どもがせいっぱいに受け止めるというせつないお話ですが、じいじが残したものがたくさん

の想いを次の世代に繋げていきます。この2作目の絵本が出版できたことで、絵本作家になれそうな気がしてきました。

「ふではこのなかのキルル」

「男の子がふではこの中に小さな生き物を飼っていて、こっそり学校に連れて行く」というストーリーが漠然と浮かんでいたのですが、ある日お気に入りの赤いルビーの目がはめこまれた竜の指輪をしていた時に、ふではこの竜がびたりと結びついてこの絵本ができました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は？

出版できた絵本にはすべて「生まれてきてくれてありがとう」と言いたいです。

絵本をお作りになるときのこだわりは？

なるべくいろいろな枝を落とすことです。飾

りの言葉を省いて大切な芯のところだけ残すことを心がけるようになりました。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？

小さな花束をもらうようなうれしさを伝えられたらいいなと思って絵本をつくっています。

ご趣味についてお聞かせください。

小学生のころに「禁じられた遊び」を観て以来、映画を観ることは趣味のひとつです。音楽もお芝居も人も好きなことは全部趣味です。

好きな言葉を教えてください。

「にんげんの いきることは、うつくしいにわにそだつ いっぱんのき のようになくちやならない」(マルセル マルソー 絵本『かえってきたビップ』訳/谷川俊太郎)です。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

応援してくださいる皆様にいつも励まされています。ありがとうございます。私も誰かのことを励ましたり応援したりしたいです。そんな絵本を作っていければと思っています。

松成 真理子先生、ありがとうございました！

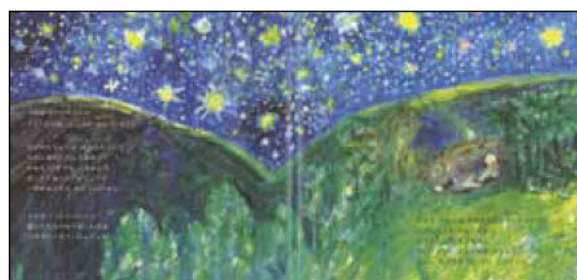


「ふではこのなかのキルル」
(白泉社)

松成 真理子先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年齢、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あて先 松成真理子サイン本プレゼント係
締め切り 平成25年5月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。





渡辺 智子
射水市大島絵本館 主任指導員

特集 / ナンセンス絵本

奇想天外ナンセンス絵本を楽しむ

「マカハンニャーハーミータ」子どもをひどく叱った沈黙の後にお経を唱えられたことがあります。「ふざけない！」と言いつつ、吹き出してしまいました。不謹慎かもしれませんが、これは私にとって、可笑しくも愉快なできごとでした。怒られたやり場のない気持ちを笑いかえた子どもは、見事！いつの間にかこんな返し技を覚えたのか……。

*

ところでこれは、「ゴリララくんのおぼうさん」（絵本館）という絵本の中でゴリラくんが唱えているお経です。橋の上でお経を唱えるゴリラくんの横に謎のかごをかぶったものがやってきて尺八を吹きます。「マカハンニャーハーミータ」「ブオオーンブローン」前半はほぼこの掛け合いが中心です。

この絵本を初めて読んだ時、子どもが大ウケし、笑いが止まらなくなり、私の中で、「ナンセンス絵本」への扉を開いてくれました。

*

そもそも「ナンセンス絵本」とは？直訳すると「意味のない絵本」。「絵本の事典」（朝倉書店）には「言葉と論理の独創的な選択と反復で、（中略）感覚的な喜びと笑いをもたらす」、またある雑誌には「とら

え方は十人十色。読んだ人がナンセンスと感じれば、それはナンセンス」と書かれています。

私の中では「ナンセンス」＝「奇想天外」な世界です。あり得ないことが描かれていることが多いのですが、その中に驚きあり笑いあり、ユーモアあり、そして不思議と印象に残る絵本が多いのです。

「よくわからないけど気にしない。流れがある。リズムがある。わかるわからないより大事なのはリズム。全体の流れ。ちがう言い方をすれば直感。ナンセンスは直感を鍛える。」ある出版社のA社長の言葉です。なるほど。

*

子どもの感性、子どもの行動は、とても柔軟で、驚きあり、笑いあり、ユーモアあり。まるでナンセンス絵本の世界です。子どもたちはその世界を存分に楽しんでいるでしょう。

多くの子どもたちにナンセンス絵本を楽しむ機会があればと思います。もちろん大人の皆さんも。

この奇想天外な世界が、人生そして世界を豊かにし、生きていく上での直感力を培ってくれるのでは……と期待と願いを込めて。

私のおすすめ絵本

『ぶきやぶきやぶー』

内田麟太郎／文 竹内通雅／絵
（講談社）
ぶきやぶきやぶー
繰り返しがリズムカル。
不思議な生き物たちと一緒に
ぶたおじさんのバスに乗ってみて！



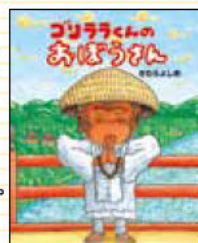
『つきよのかいじゅう』

長 新太／作
（佼成出版社）
満月の夜、湖に現れた
かいじゅうの正体は？
ダイナミックで奥深い
ナンセンス絵本。



『ゴリララくんのおぼうさん』

きむらよしお／作
（絵本館）
ゴリララくんと謎のものの
かけあい面白く、目が離せない。
謎のものの正体は？
お話の結末も独創的。



「だるまだ！」
高島那生／作（長崎出版）
海から大量のだるまたちが現れる。
世界中にだるまがいたら……？
カラフルでオシャレで奇想天外な絵本。



「ちくわのわーさん」
岡田よしたか／作
（プロズ新社）
ちくわのわーさんは、おひるねしたり、こいのぼり
になったり、のんびりやさん。目的地はどこかな？



「うんちっち」
ステファニー・ブレイク／作 ふしみみさを／訳
（あすなろ書房）
うさぎちゃんの話す言葉はただ一つ「うんちっち」。
フランスのロングセラー絵本。



「うえきばちです」
川端 誠／作
（BL出版）
うえきばちにのっぺらぼうを描いたら……？
言葉遊びとユーモア満載の絵本。